

平成 19 年度 福岡市食育推進会議

平成 20 年 1 月 28 日 15:30～17:00

アクロス福岡 607 会議室

次 第

1 開 会

2 協 議

議題 1 「福岡市食育推進計画」の推進状況について

(報 告)

1) 平成 19 年度 食育関連事業の実施状況

○平成 19 年度食育推進関係主要事業一覧・・・・・・・・・・(資料 1)

○主な施策の実施状況・・・・・・・・・・(資料 2)

○農林水産省 平成 19 年度につぼん食育推進委託事業・・・・・・・・(資料 3)

2) 計画のキャッチフレーズ及びマスコットキャラクター・愛称・・・・(資料 4)

議題 2 今後の計画の推進について・・・・・・・・・・(資料 5)

3 閉 会

福岡市食育推進会議条例

(設置)

第1条 食育基本法（平成17年法律第63号。以下「法」という。）第33条第1項の規定に基づき、福岡市食育推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 推進会議は、次に掲げる事務を行う。

- (1) 法第18条第1項に規定する市町村食育推進計画を作成するとともに、関係機関等と連携し、その実施を推進すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、食育の推進に関する重要事項について審議し、及び食育の推進に関する施策の実施を推進すること。

(組織)

第3条 推進会議は、会長及び委員30人以内をもって組織する。

(会長)

第4条 会長は、市長をもって充てる。

- 2 会長は、会務を総理し、推進会議を代表する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(委員)

第5条 委員は、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 食育に関して十分な知識と経験を有する者のうちから市長が任命する者
 - (2) 本市の職員のうちから市長が任命する者
 - (3) その他市長が適当と認める者のうちから市長が任命する者
- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 3 委員は、再任されることができる。

(会議)

第6条 推進会議の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

- 2 推進会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 推進会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会)

第7条 推進会議に、特定の事項について調査し、及び審議させるため、部会を置くことができる。

(関係者の出席)

第8条 推進会議は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第9条 推進会議の庶務は、保健福祉局において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

福岡市食育推進会議委員名簿

平成20年1月28日現在

| 区分 | 番号 | 所属団体名等 | 役職等 | 氏名 |
|---------------|----|----------------|---------|--------|
| 議会 | 1 | 第1委員会 | 代表 | 渡辺 裕江 |
| | 2 | 第2委員会 | 代表 | 水城 四郎 |
| | 3 | 第3委員会 | 代表 | 玉井 輝大 |
| 学識 経験者 | 4 | 国立大学法人九州大学大学院 | 教授 | 甲斐 諭 |
| | 5 | 公立大学法人福岡女子大学 | 教授 | 早瀬 仁美 |
| 関係 団体 | 6 | 社団法人福岡市医師会 | 会長 | 宮崎 良春 |
| | 7 | 社団法人福岡県栄養士会 | 会長 | 城田 知子 |
| | 8 | 社団法人福岡県調理師協会 | 会長 | 清水 享 |
| | 9 | 福岡市農業協同組合 | 代表理事組合長 | 倉光 一雄 |
| | 10 | 福岡市小学校校長会 | 会長 | 谷 友雄 |
| | 11 | 福岡市中学校校長会 | 会長 | 松村 正秋 |
| | 12 | 福岡市PTA協議会 | 会長 | 疋田 敏明 |
| | 13 | 社団法人福岡市保育協会 | 理事 | 白谷 トキ子 |
| | 14 | 社団法人福岡市私立幼稚園連盟 | 会長 | 坂根 康秀 |
| | 15 | NPO法人コンシューマ福岡 | 代表 | 石三 クニ子 |
| 代 表 域 | 16 | 社団法人福岡市食品衛生協会 | 会長 | 杉 正道 |
| | 17 | 福岡市公民館長会 | 会長会代表 | 緒方 博 |
| 行政 関係 者 | 18 | 福岡市自治協議会等7区会長会 | 副会長 | 山崎 一 |
| | 19 | 福岡市 | 市長 | 吉田 宏 |
| | 20 | 福岡市 | 教育長 | 山田 裕嗣 |
| | 21 | 福岡市 | 市民局長 | 陶山 博道 |
| | 22 | 福岡市 | こども未来局長 | 大場 美徳 |
| | 23 | 福岡市 | 保健福祉局長 | 石井 幸充 |
| | 24 | 福岡市 | 環境局長 | 佐本 文男 |
| | 25 | 福岡市 | 農林水産局長 | 谷口 芳満 |
| | 26 | 福岡市 | 区長代表 | 遠藤 文彦 |
| | 27 | 財団法人福岡市健康づくり財団 | 理事長 | 神宮 純江 |

議題 1 「福岡市食育推進計画」の推進状況について

1) 平成19年度 食育関連事業の実施状況

○ 平成19年度 食育推進関係主要事業一覧

資料 1

| 項目 | キャッチフレーズ・マスコットキャラクターの募集 | マスコットキャラクターの愛称募集 | 重点啓発事業 | 関係推進月間等 | 食育推進会議・食育推進連絡会議 | |
|-----|-------------------------|-------------------------------|---|---|----------------------|------------------------|
| 4月 | | | | | | |
| 5月 | | | | | | ○ 食育推進連絡会議 5月18日(金) |
| 6月 | ○ 募集 (6/19~7/31) | | | ○ 食育月間 食育パネル展 | | |
| 7月 | | | | | | |
| 8月 | ○ 選定 8月28日(火) | | | ○ 食品衛生月間 講演会「食べることは 生きること ~食べ力を つける~」 | | |
| 9月 | | | 事業内容(資料3参照) ・ポスター等の紙媒体CD 等の電子媒体を活用した 普及・啓発、キャンペーン の実施 など キャンペーン実施 平成19年9月 ~ 平成20年1月 にっぽん食育委託事業 | | | |
| 10月 | ○ 公表 10月27日(土) | ○ 募集 (10月末 ~ 11月30日) | | ○ 各区 健康づくり月間 「健康フェア」 | | ○ 食育推進連絡会議 10月3日(水) |
| 11月 | | | | | | |
| 12月 | | ○ 選定 12月25日(火) | | | | |
| 1月 | | ○ 公表 1月12日(土) | ○ 1月12日(土) 「食事バランスガイド」 キャンペーンin福岡 | ○ 学校給食週間 1月26日(土) 食育フェスタin学校給食 | ○ 食育推進会議 1月28日(月) | ○ 食育推進連絡会議 1月16日(水) |
| 2月 | | | | ○ 各区 生活習慣病予防 月間 「健康食パーティ」 | | |
| 3月 | | | | | | |

(5)

(5)

○ 主な施策の実施状況

1 家庭・地域における食育の推進

- ◆ ライフステージに応じた食育の取り組み
 - ・ 離乳食，妊娠中の食事，高齢者の低栄養予防食，など
 - ・ 今年度 新規事業「めじゃーリーグに挑戦！」（早良区）
メタボリックシンドローム予防のための普及啓発事業

- ◆ 地域における食育の支援のためのネットワークづくり
 - ・ 子どもの生活リズム向上のための普及啓発事業（南区）
 - 18年度の取り組み事業「早寝・早起き」
パンフレット「早寝・早起きげんきっこ」配布
早寝・早起きキャンペーンの実施
 - 19年度「親子朝ごはんチャレンジ教室」
対 象：幼児とその保護者
各校区（25校区）年1回開催
 - ・ 食生活改善を実践するための人材育成

| 毎日朝食を食べる人の割合 | | | |
|--------------|-------|-------|------------|
| | 計画策定時 | 現 在 | 平成22年度（目標） |
| 小学生 | 81.2% | 90.0% | 100% |
| 中学生 | 77.9% | 82.3% | 100% |

| 福岡市栄養成分表示の店事業の協力店舗数（ヘルシーメニューを含む） | | | |
|----------------------------------|-------|-----|------------|
| | 計画策定時 | 現 在 | 平成22年度（目標） |
| 協力店 | 52店 | 87店 | 200店 |

| 食生活改善推進員数 | | | |
|--------------|-------|------|------------|
| | 計画策定時 | 現 在 | 平成22年度（目標） |
| 食生活改善 推進員 | 836人 | 920人 | 1,200人 |

2 学校・保育所等における食育の推進

- ◆ 発達段階に応じた食育の取り組み
 - ・ 保育活動や給食時の食指導の実施
 - ・ 親子で使おう「食事バランスガイド」冊子の配付及び栄養教諭・学校栄養職員による食指導

- ◆ 給食の充実
 - ・ 給食の食材・献立を通して、郷土料理や伝統食などの食文化の継承
 - ・ 市内産、県内産の農水産物等の積極的な利用

- ◆ 食育を通じた健康状態の改善などの推進
 - ・ 給食における除去食や代替食等の食物アレルギー対応
 - ・ 健康手帳の配付（小中学校）

- ◆ 家庭・地域との連携
 - ・ 保育所職員による地域での調理実習の実施
 - ・ 給食試食会の実施

- ◆ 指導体制の充実
 - ・ 栄養専門職等の資質向上を図るため「福岡市食育推進セミナー」等研修の実施

| 学校給食の残滓の割合 | | | |
|------------|-------|-------|------------|
| | 計画策定時 | 現在 | 平成22年度（目標） |
| 小学校 | 4.3% | 3.7% | 2.1% |
| 中学校 | 14.6% | 14.3% | 7.3% |

3 生産者と消費者との交流や農林漁業の活性化

- ◆ 生産者と消費者との交流や農林漁業の活性化の推進
 - ・ こどもグリーンツーリズム（早良区）
 - ・ 食と農の探検隊事業
 - ・ 玄海うまかもん食育事業
 - ・ 海藻アオサ料理コンテスト
 - ・ 食事バランスガイド体験&お魚料理教室
 - ・ 学校給食における市内産農水産物の利用促進

| 学校給食への市内産農水産物利用割合 | | | |
|-------------------|-------|-------|------------|
| | 計画策定時 | 現 在 | 平成22年度(目標) |
| 米 | 3.5% | 11.2% | 17% |
| 野菜 | 9.9% | 10.4% | 14% |
| 水産物 | 0品目 | 0品目 | 2品目 |

4 食文化の継承と国際交流

- ◆ 郷土料理, 行事食・食事作法等の伝承
 - ・ 博多うまかもん市郷土料理教室
- ◆ 国際交流
 - ・ アジア太平洋フェスティバル

5 食品の安全性確保と食生活に関する情報発信, 調査研究

- ◆ 食品の安全性の確保
 - ・ 食品取扱施設の監視、食品の検査
- ◆ 食生活に関する情報発信
 - ・ 暮らしの情報講座、保育協会(食育部会)講演会
 - ・ 「手洗い習慣促進キャンペーン」(城南区)など
 - ・ 福岡市栄養成分表示の店事業の推進
- ◆ 食生活に関する調査
 - ・ 子どもの食生活調査分析

その他

食育推進運動の展開

- ・ 食育月間パネル展
- ・ キャッチフレーズ・マスコットキャラクター・愛称の作成
- ・ 「健康日本21福岡市計画」推進イベント

①

②

平成19年度 食育関連事業の実施状況（平成19年11月末現在）

(1) 家庭・地域における食育の推進

◆ ライフステージに応じた食育の取り組み

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|----------------------|----------|-----------------------------------|---|-----------------|
| 母子保健訪問事業 | 随時 | 2,750人 | 母親の妊娠、出産、育児に対する不安を解消し、さらに、母子の健全育成を図るため、「母子巡回健康相談車」で地域を巡回し健康相談を行う際に、離乳食や幼児のおやつについて試食を伴う指導を実施 | 各区保健福祉センター |
| マタニティースクール | 随時 | 集団46回 延べ653人 (月1回/区) 個別 40人 | 母子の健全な発育をはかるため、妊娠中の女性に対して、食生活の面からの指導の実施 | 各区保健福祉センター |
| 離乳食準備指導 | 随時 | 142回 8,418人 (月1~2回/区) | 乳児の4か月健診時に離乳の進め方作り方、与え方等について講話の実施 | 各区保健福祉センター |
| 離乳食教室 | 随時 | 60回 1,734人 (月1~2回/区) | 乳児のよい食習慣の確立をはかるため保護者に対して、離乳食の進め方等について講話・試食等の実施 | 各区保健福祉センター |
| 乳幼児健康診査 | 随時 | 15,310人 (月2~3回/区) | 保健指導の中で1才6か月、3歳児を対象に保健指導の中で、生活習慣の確立とおやつや朝ごはんに関する事など食生活指導を実施 | 各区保健福祉センター |
| 栄養相談 | 随時 | 133回 182人 (月2~3回/区) | 乳幼児・高齢者および病気における栄養に関する個別相談日の開催 | 各区保健福祉センター |
| 健康増進教室 | 随時 | 147回 2,089人 (月1回/区) | 健診を含めた煙々人の食事と運動を中心に生活習慣病予防のための教室の開催 | 各区保健福祉センター |
| 各種生活習慣病予防教室 | 随時 | | 糖尿病・肥満解消・健康運動教室。教室前後に健診を行い、食事と運動を中心に生活習慣の変容を支援する教室 | 各区保健福祉センター |
| 節目健診・転倒予防教室 | 随時 | 138回 3,266人 (毎月2回/区) | 結果説明時の健康教育の中で高齢者の低栄養予防の食生活指導の実施 | 各区保健福祉センター |
| アトピー性疾患対策 | 隔月 1回 | 3回 16名(東区) 4回 25名(早良区) | 専門医(小児科・皮膚科)によるアトピー相談の中で、栄養士による個別の食事指導を実施 | 東区健康課 早良区健康課 |
| 糖尿病予防推進事業 (博多区) | 随時 | 7回 40人 | 糖尿病予防グループの育成 | 博多区健康課 |
| めじゃーリーグに挑戦! (早良区) | 11月21日~ | 参加者224人 | メタボリックシンドローム予防のための普及啓発事業 | 早良区健康課 |

◆ 地域における食育の支援のためのネットワークづくり

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|---|------------------------|----------------------|---|------------------|
| 公民館主催事業 | 随時 | | <公民館> 乳幼児ふれあい学級、家庭教育学級、学校週5日割関連事業等において、食育をテーマとした学習や料理実習を実施 | 市民局 公民館支援課 |
| 「健やか子育て教室」における食育をテーマとした母子健康教室 | 未定 (各区において要望に応じて実施) | 15回 374人 (18年度実績) | 生活圏内での育児に関する仲間づくりの教室を開催し、自主グループの育成を図る「健やか子育て教室」事業において、地域の要望に応じて、食育をテーマとした母子健康教育を実施する。 | こども未来局 こども未来課 |
| 子どもプラザ事業 | 随時 | | 乳幼児親子がいつでも自由に利用でき、情報交換や相談ができる「子どもプラザ」で、食に関する相談や情報を提供する。 ※ 平成19年7月をもって、7区全てに設置。 | こども未来局 こども未来課 |
| 福岡市食生活改善推進員協議会 総会 講演 | 6月7日 | 245人 | 左記協議会総会の講演 テーマ 「今、求められる食農教育について」 講師 料理研究家 徳永睦子氏 | 保健福祉局 保健予防課 |
| 親と子の料理教室 | 4~3月 | 年80回 | 各区公民館等における親子の料理教室 福岡市食生活改善推進員に委託 | 保健福祉局 保健予防課 |
| 福岡商工会議所健康診断時における食事バランスガイドの普及 (農林水産省にっぽん食育推進委託事業) | 10月18日 ~ 10月20日 | 500食 | 商工会議所会員事業者の社員向け健康診断時に食事バランスガイドに関するパネル展示及び朝食おにぎりセットの配食 | 保健福祉局 保健予防課 |

※ 実績については、4~11月までの実績。12~3月については予定数。
その他特記がある場合は、18年度実績。

◆ 地域における食育の支援のためのネットワークづくり (つづき)

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|---------------------------------------|-----------------------|--|--|------------------|
| 福岡・朝カフェ2007 (農林水産省にっぽん食育推進委託事業) | 10月1日 ～ 10月5日 | 5会場17店舗 約4,000人参加 | 朝から始まる豊かで洗練された都市のライフスタイルを提案する「朝カフェ」で専用のブースを設け、食事バランスガイドの活用を広めた。 | 経済振興局 集客企画課 |
| 食生活改善推進員養成教室 | 5月～8月 | 53日 1,403人 | 健康づくりの食生活改善を行うため、地域リーダーとなるボランティア養成教室の開催 | 区健康課 |
| 食生活改善推進員研修会 | 4月～3月 | 7回 444人 (各区年1回) 170回 6,745人 | ・区総会時の研修会において食育「食事バランスガイド」等についての講演会開催 ・食生活改善推進員研修会のなかで食育について学習会を実施 | 区健康課 |
| 校区献血時栄養指導 | 随時 | 122回 1,073人 (1回/校区) | 献血不適の方に対して、貧血予防などの栄養指導の実施 | 区健康課 |
| 外食栄養成分表示に関する情報提供等 | 随時 | 市民対象 30回 617人 業者対象 1回 1人 | 栄養成分表示に関する普及啓発 | 区健康課 |
| 食育ネットワーク会議の開催 | 随時 | 3回 48人 (年1回/区) | 各区において食育推進のためのネットワーク会議の立ち上げ | 区健康課 |
| 子どもの生活リズム向上のための普及啓発事業(南区) | 随時 | 87回 3,876人 | 子どもの健やかな発育発達を促すために欠かせない基本生活習慣の大切さを普及啓発するため生活リズムの教育、キャンペーンの実施や平成19年度から幼児とその保護者を対象に「親子朝ごはんチャレンジ教室」を各校区年1回開催している。 | 南区地域保健福祉課 |
| 「早寝・早起き・朝ごはん」事業(東区) | 随時 | 料理講習会 21回921名 | 大学・保育園・食生活改善推進員協議会と連携し、こどもの朝食摂取率の向上をめざして料理教室等を実施 | 東区健康課 |
| 「げんきでいただきます」応援事業(城南区) | 随時 | 料理講習会2回54名 出前講座4回180名 食育相談会4回29名 | おやこ料理教室の開催、保育園・幼稚園への出前講座若者向けパンフレットの作成 | 城南区健康課 |
| 「みんなで健康」城南まちづくり事業(城南区) | 年間3～4回 | 4回 138名 | 「みんなで健康」城南まちづくり事業の中で「食生活・食事」についての講話等。 | 城南区地域保健福祉課 |
| 「元気モリモリさわらっ子」事業(早良区) | 随時 | | 幼児向け紙芝居・食品カード等教材による食育料理教室・出前講座の開催。 | 早良区健康課 |
| ウエルネスレストラン | 随時 | 31,639人 | 料理モデルを使って健康的な食べ方を学ぶ展示施設(常設)。9月より食事バランスガイドの内容にリニューアル。リニューアルイベント2日間開催。 | 健康づくり財団 |
| ウエルネスレストラン団体への講習 | 随時 | 24回 1,382人 | 小学校等から団体で訪問がある際に、食事バランスガイドによる健康的な食事について解説 | 健康づくり財団 |
| ウエルネスレストラン館外持ち出し | 随時 | 14回 約900人 | メニュー写真集、ソフト、料理モデルを貸出。授業やイベントで活用。天神朝カフェ、健康フェア、食育キャンペーン、栄養専門学校イベントなど。 | 健康づくり財団 |
| ウエルネスレストランボランティア活動 | 随時 | 38回 71人 | 栄養士ボランティアにより来館者へバランスよく食べる工夫について解説。 | 健康づくり財団 |
| 外食における食事バランスガイドを活用した食事の普及事業 | 随時 | 2店舗 | 健康づくりの支援を行う店舗と共同企画してバランスのよい料理と食事バランスガイドの情報を提供する。 | 健康づくり財団 |
| 親子食育講座 | 8月24日 12月1日 | 25組 60人 | 4歳～小学4年生の子供とその保護者を対象に調理実習を通して健康的な食べ方を楽しく学習する講座。 | 健康づくり財団 |
| 第26回食品のまつり博多うまかもん市 食事バランスガイド体験コーナー | 1月23日 ～ 1月28日予定 | | 主催：福岡商工会議所 今年度のテーマを食育として開催されるうまかもん市で食事バランスガイドの活用を広める。 | 健康づくり財団 農林水産省 |

(2) 学校・保育所等における食育の推進

◆ 発達段階に応じた食育の取り組み

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|--|------|----------------------------------|--|------------------|
| 保育所におけるの食育指導 | 毎日 | | 保育活動や給食時の食育指導の実施(菜園など体験型活動) | こども未来局 保育所指導課 |
| 栄養教諭・学校栄養職員による担当校への食に関する指導 | 5月～ | 小学1・5年児童 : 全クラス | 栄養教諭・学校栄養職員が担当校(配置校を含む)小学1年生及び5年生全クラスを対象にした食に関する指導 | 教育委員会 健康教育課 |
| 朝食喫食調査 | 6月 | 小学2～6年児童 : 50校 中学1～3年生徒 : 20校 | 本市小学2～6年児童(栄養教諭等配置校50校)及び中学1～3年生徒(20校)を対象にした朝食喫食調査と分析 | 教育委員会 健康教育課 |
| 食生活アンケート調査 | 10月 | 小学5年児童 : 全校 中学2年生徒 : 20校 | 本市小学5年児童(全校)及び中学2年生徒(20校)を対象にした食生活全般に関する意識調査と分析 | 教育委員会 健康教育課 |
| 親子で使おう「食事バランスガイド」冊子配付及び指導 (農林水産省にっぽん食育推進委託事業) | 11月～ | 小学4・5・6年児童 中学1年生徒 | 本市小学4・5・6年児童及び中学1年生徒に対して“親子で使おう”「食事バランスガイド」を配付し、それを活用した栄養教諭・学校栄養職員による食指導 | 教育委員会 健康教育課 |

◆ 給食の充実

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|--------------------|--------------|----------------|---|------------------|
| 乳児食・幼児食研修会 | 6月 | 10回 | 調理担当者・乳児担当保育士に対し、乳児食・幼児食について講義と調理実習を行い、給食及び保育の向上を図る | こども未来局 保育所指導課 |
| 新献立研修会等 | 9月, 11月, 12月 | 4回 | 新メニュー等についての調理実習を行い、給食の質の向上を図る。 | こども未来局 保育所指導課 |
| 市内産、県内産の農産物の積極的な利用 | 随時 | | 学校給食に使用する食材について、市内産、県内産を積極的に利用 | 教育委員会 健康教育課 |
| 学校給食週間 | 1/24～30 | | 学校給食の意義・役割等についての理解を深めるため、学校給食に関する校内行事等の取り組みを実施する。 | 教育委員会 健康教育課 |

◆ 食育を通じた健康状態の改善などの推進

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|-----------------|------|----------------|---|----------------------------|
| 健康手帳の配付 | 6月～ | 小・中学児童生徒 | 児童生徒に自分の健康について理解させ、より生活習慣を身に付けさせるために健康手帳を配付 | 教育委員会 健康教育課 |
| 給食における食物アレルギー対応 | 随時 | | 保育所(園)及学校給食における除去食や代替食等の食物アレルギー対応 | 教育委員会健康教育課 こども未来局保育所指導課 |

◆ 家庭・地域との連携

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|----------------|-------|-------------------|---|------------------|
| 子育て支援事業 | 随時 | 11月まで 18回 666人 | 保育所の調理担当が、地域の子育てサークル等に出向いて離乳食や幼児食の作り方について調理実習を行う | こども未来局 保育所指導課 |
| 給食試食会・保護者講演会 | 随時 | | 保護者等に対して保育所給食や食生活についての理解を深めてもらうため、給食試食会や食に関する講演会を行う。 | こども未来局 保育所指導課 |
| 保育所職員の地域への出前教室 | 随時 | | 給食担当者が地域と連携して公民館や小学校に出向いて、調理実習を入れた教室を実施 | こども未来局 保育所指導課 |
| 食育フェスタ in 学校給食 | 1月26日 | | 栄養職員・学校栄養職員による保護者及び児童・生徒対象の食育イベント(料理教室、食育講演会、学校給食の紹介等) | 教育委員会 健康教育課 |
| 学校給食試食会 | 随時 | | 保護者等に対して学校給食についての理解を深めてもらうと同時に、学校と連携した家庭や地域における食育推進について講演を行う。 | 教育委員会 健康教育課 |
| 家庭教育支援事業 | 随時 | | 子どもの基本的な生活習慣の確立に向けた取り組みの中で、朝ごはんに関する研修会や調理実習等を実施 | 教育委員会 生涯学習課 |

※ 実績については、4～11月までの実績。12～3月については予定数。その他特記がある場合は、18年度実績。

◆ 指導体制の充実

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|-----------------------|---------------|------------------------|--|------------------------------|
| 保育所食育計画作成支援 | 11月～3月 | | 各保育所の食育計画作成のための支援。 「保育所における食育の計画づくりガイド」等の食育資料の配付と研修 | こども未来局 保育所指導課 |
| 食育教材等の作成 | 4月～2月 | | 各保育所で活用できる食育媒体、食育計画モデル案等の作成 | こども未来局 保育所指導課 |
| 保育協会（食育部会）講演会 | 9月4日 | 60人 | 食育の基本とその進め方について講演会を実施。 | こども未来局 保育所指導課 |
| 給食グループ研修（食育推進研修） | 10月4日 | 141人 | 保育所の保育の中に子どもの発達に応じた食育を盛り込んでいくための食育計画作成研修を行った 「食育指導計画の立て方」 1. 子どもの発達と食事 2. 食育計画の立て方と活動の実際 3. 新保育所保育指針（食育）について | こども未来局 保育所指導課 |
| 福岡市食育推進セミナー | 4月～3月 | 9回：1,394人 (4～11月実績) | 幼児、児童、生徒の食育を担う栄養専門職等のさらなる資質向上を図るための研修会 | 教育委員会健康教育課 (こども未来局保育所指導課) |
| 中学校における食育指導計画実践事例集の作成 | 4月下旬～ 3月上旬 | | 中学校における食育推進を図るため、教科等と関連つけた食育指導計画実践事例集を作成する。 | 教育委員会 健康教育課 |
| 学校における食に関する指導推進事業 | 4月～ | | 栄養教諭・学校栄養職員のネットワークを構築し、食育指導案や学校給食献立の電子化等による業務改善を行うことにより、食に関する指導時間を確保し、食育推進の基盤整備を図る。 | 教育委員会 健康教育課 |
| 食育推進啓発用媒体（DVD）の制作 | 4月～ | | 学校等における食育を効果的に推進するための啓発用DVDの制作 | 教育委員会 健康教育課 |

(3) 生産者と消費者との交流や農林漁業の活性化

◆ 生産者と消費者の交流や農林漁業活性化の推進

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|---|-----------------------------------|----------------------------|---|-------------------------------|
| 子どもグリーンツーリズム事業 | 随時 | 6回 16組・36名 | 小学生・保護者を対象とした農業体験・食育教室 | 農林水産局農業政策課 早良区企画課 |
| 食と農の探検隊事業 | 随時 | 5回 58名 | 消費者から隊員を募り、様々な方法で、食と農を考える場を提供する | 農林水産局 農業政策課 |
| アグリサポーター事業 | 4月～3月 | 20名 延べ26日 | 市民を対象に、農作物の栽培技術や知識の習得を通じて農業について理解を深めてもらうとともに、農業者への支援を進める。 ※ふくおかアグリ塾 (定員：20名、講義・実習：延30日程度) | 農林水産局 農業振興課 |
| ファームステイ事業 | 7月下旬～11月中旬 | 1回 20名 | 市内の小学生を対象に、油山牧場や県内酪農家において、実際に酪農作業を体験すること等により、酪農及び牛乳や乳製品等畜産物について理解を深める。 (参加児童：20名) | 農林水産局 農業振興課 |
| 学校給食活用推進事業 | 4月～3月 | 作付面積：67a 品目：じゃがいも、玉葱、人参 | 学校給食へ市内産農産物の供給を拡大するため、給食での使用量が特に多いジャガイモ、タマネギ、ニンジン生産を奨励して、地産地消及び食育を推進する。 (作付計画面積：200a) | 農林水産局 農業振興課 |
| 福岡とれたて野菜クッキング教室 | 10月～3月 | 2回 39名 | 旬の市内産野菜を食材とした市民対象の料理教室を行い、野菜の新たな食べ方の提案や、野菜を食べることの大切さなど、食生活のあり方について消費者の理解を深める。 (年4回開催、参加者：100名程度) | 農林水産局 農業振興課 |
| 玄海うまかもん食育事業 | 6月～12月 | 35回 延1,151人 | 魚介類の栄養と健康に関する講習及び調理実習を中学生、高校生、中学校の家庭科教師を対象に行う。また、親子の料理教室も実施する。 | 農林水産局 水産振興課 |
| 体験漁業(漁船でGO!!) | 7月～8月 | 2回 延67人 | 博多湾での1日漁師体験と地元漁師料理の試食 | 農林水産局 水産振興課 |
| 朝市、夕市等の直販事業への支援 | 随時 | ・5月花綱綱まつり開催 ・年間を通じ直販支援 | 地元で生産された農水産物を直接消費者に販売 | 農林水産局 水産振興課 |
| 中央卸売市場料理教室 | 12月14日 2月1日 3月4日 | 定員30名/回 | プロの講師による生鮮食品を食材にした料理教室を実施し、福岡市中央卸売市場で取り扱う生鮮食品の消費拡大及び食育推進を図る。 | 農林水産局 市場課 |
| 海藻アオサ料理コンテスト (予選・本選) | 予選 6月25日～9月21日 本選 11月25日 | 予選30名 44作品 本選12名 12作品 | 博多湾に自生する海藻アオサを使った美味しい料理方法を探り、食材としての活用方法を多くの方に紹介、普及を図るための料理大会 | 港湾局 環境対策課 |
| 食事バランスガイド体験&お魚料理教室 (農林水産省にっぼん食育推進委託事業) | 12月15日 | 9組 20人 | 小学生とその保護者を対象にお魚料理を通して食事バランスガイドの活用について学習する講座。 | 健康づくり財団 福岡市漁業協同組合 農林水産省 |

(4) 食文化の継承と国際交流

◆ 郷土料理、行事食・食事作法等の伝承

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|------------------------------|-------|--------------------------|--|----------------|
| 第26回食品のまつり博多うまかもん市 郷土料理教室 | 1月23日 | 60食 | 主催：福岡商工会議所 今年度のテーマを食育として開催されるうまかもん市で市食生活改善推進員による郷土料理教室を開催 | 保健福祉局保健予防課 |
| 農の達人出前講座 | 随時 | 42回 2,194名 (50回 開催予定) | 女性・高齢農業者が食農にまつわる技術等の出前講座を行う | 農林水産局 農業政策課 |

◆ 国際交流

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|---------------|-----------|-----------------------|---|----------------|
| アジア太平洋フェスティバル | 9月13日～17日 | 市役所ふれあい広場会場内：131,000人 | アジア太平洋地域の食をテーマにした屋台を展開。食文化を通じてアジア太平洋地域に親しむ。 | 経済振興局 観光振興課 |

※ 実績については、4～11月までの実績。12～3月については予定数。その他特記がある場合は、18年度実績。

(5) 食品の安全性確保と食生活に関する情報発信、調査研究

◆ 食品の安全性の確保

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|-------------------|-----------------------|------------------------------------|---|--------------------------|
| 児童福祉施設に対する巡回指導 | 5月～2月 | 188回 | 保育所やその他児童福祉施設への監査指導時に食育についての助言指導を行う。 | こども未来局 保育所指導課 |
| 食品取扱施設の監視、食品の検査 | 随時 | (H18実績) 監視 90,350件 検査 3,832件 | 食品衛生監視員が飲食店、食品製造施設、鮮魚・青果市場、学校給食等の施設に立ち入り、施設の衛生状態や食品の取扱い状況を確認するもの。 | 各区保健福祉センター衛生課 食品衛生検査所 |
| 表示違反事例発見に伴う緊急立入検査 | 10月31日 ～ 11月30日 | 監視 1,626件 | 市内の菓子製造・販売施設等を対象とした、食品表示を確認するための緊急立入。 | 各区保健福祉センター衛生課 食品衛生検査所 |

◆ 食生活に関する情報発信

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|---|------------|----------------|--|------------------|
| くらしの情報講座 | 6月8日 | 110人 | 消費者に関心が高い分野をテーマに専門の講師による講座を開催する。 テーマ 残留農薬から考える食の安全安心 講師 実践女子大学生生活科学部 教授 西島 基弘 氏 | 市民局 消費生活センター |
| | 1月30日 | | テーマ 安全な食品の選び方・食べ方 講師 食生活ジャーナリスト 佐藤 達夫 氏 | |
| 消費生活フェア | 9月13日 | 170人 | 消費者団体と共催で講演会やパネル展等を開催する。 テーマ イキイキ、ワクワクは食卓から。 ～心を育てる食生活を 講師 料理研究家・管理栄養士 村上 祥子 氏 | 市民局 消費生活センター |
| 保育協会（食育部会）講演会（再掲） | 9月4日 | 60人 | 食育の基本とその進め方について講演会を実施。 | こども未来局 保育所指導課 |
| 外食栄養成分表示の店事業 | 随時 | 85店 | 市民の食にかかわる健康づくりの支援を行う飲食店を「福岡市栄養成分表示の店」として登録し、また、その情報提供を推進する。 | 保健福祉局 保健予防課 |
| 「私たちの食事とアスリートの食事」講演会 同時開催 福岡市食育推進計画 マスコットキャラクターの愛称 発表会 | 1月12日 | 500人 | アスリートをゲストにした運動と食事の関係から食事バランスガイドを理解し、食育を考える 講師 福岡女子大学 教授 早瀬 仁美 氏 スポーツキャスター 益子直美 氏 | 保健福祉局 保健予防課 |
| 給食だより等食生活についての資料の発行 | 随時 | | 保育所給食のメニューや行事食、栄養の働きなどについてのおたよりを発行し、保護者に配付 | こども未来局 保育所指導課 |
| 保育所における食生活アドバイス | 随時 | | 食に関する相談（給食メニューや朝食の作り方など）や食事について食教材等により情報提供を行う | こども未来局 保育所指導課 |
| 乳児食・幼児食研修会（再掲） | 6月 | 10回 | 調理担当者・乳児担当保育士に対し、乳児食・幼児食について講義と調理実習を行い、給食及び保育の向上を図る | こども未来局 保育所指導課 |
| 新献立研修会等（再掲） | 9月、11月、12月 | 4回 | 新メニュー等についての調理実習を行い、給食の質の向上を図る。 | こども未来局 保育所指導課 |
| 福岡地下鉄・西鉄電車・バス車内広告 （農林水産省にっぽん食育推進委託事業） | 10月 | | 全国キャンペーン食事バランスガイド（優香）ポスターに福岡市食育イベント・料理教室情報を掲載 | 保健福祉局 保健予防課 |
| シティ情報ふくおか CLASS記事掲載 （農林水産省にっぽん食育推進委託事業） | 10月号 | 50,000部 | 全国キャンペーン食事バランスガイド（優香）ポスターに福岡市食育イベント・料理教室情報を掲載 | 保健福祉局 保健予防課 |
| 特定給食施設研修会 | 5月～2月 | 1,226人 | 病院や老人施設などの給食従事者に対して健康づくりの栄養知識や衛生知識・食育に関する情報などの講話の実施 | 区健康課 （衛生課） |

※ 実績については、4～11月までの実績。12～3月については予定数。
その他特記がある場合は、18年度実績。

◆ 食生活に関する情報発信（つづき）

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|---------------|--------|-----------------------------|---|-----------------------|
| 手洗い習慣促進キャンペーン | 6月～12月 | 33回 2,579人 (H19.12.18現在) | ・城南区内の保育園・幼稚園へのパネルシアターや着ぐるみを使った手洗い教室の開催（中村大学との共働プロジェクト）や啓発ツールとしてのあわぶくばぶるん石けんの製作・配布・販売 ・城南区内の小学校低学年児童に対する、手洗いチェッカーを利用した手洗い教室の開催 | 城南区衛生課 |
| ふくおか市民糖尿病教室 | 11月4日 | 547人 | 糖尿病についての講演会、食事療法の展示、食事相談などを実施(他団体との共同開催)。 | 健康づくり財団 保健福祉局保健予防課 |
| 市民公開講座 | 10月6日 | 280人 | 食育に関する講演会 講師 京都大学名誉教授 家守 幸男氏 福岡女子大学教授 早淵 仁美氏 | 健康づくり財団 |
| キッズ食べ物ランド | 随時 | 31,639人 4月～11月 | 幼児の食体験遊び場(常設)。 | 健康づくり財団 |
| 各種リーフレット配布 | 随時 | | 「朝ごはんを食べよう」「福岡市民の生活習慣調査」「幼児の生活習慣調査」「若者の食生活・性行動調査」のリーフレット配布 | 健康づくり財団 |
| テレビでの食育広報 | 随時 | | 6月14日RKB探険九州、8月21日RKB今日感テレビ、10月27日FBSギモン解決ふくおかQ、11月26日NHKぐるっと8県で、食事バランスガイド等を解説し、健康づくりの食事について広報 | 健康づくり財団 |
| 雑誌等での食育広報 | 随時 | | 岩田屋AZ-CLUB7月号バランス健康弁当、女性の健康サポートブックで女性の健康を考える・食生活ガイドQ&A、ママすき11月号バランスよく食べるを考える等で健康づくりの食事について広報 | 健康づくり財団 |

◆ 食生活に関する調査

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|----------------|-------|------------------------------|---|------------------|
| 子どもの食生活調査分析 | 4月～2月 | 対象 166園 25,514人 | 昨年度実施した「幼児の生活習慣と食生活調査」の分析を行い、子どもの生活習慣と食生活の実態を明らかにする | こども未来局 保育所指導課 |
| 保育所食育状況調査 | 1月～3月 | 169園 | 保育所（保育園）での食育の取り組み等について調査を行う | こども未来局 保育所指導課 |
| 朝食喫食調査（再掲） | 6月 | 小学2～6年児童：50校 中学1～3年生徒：20校 | 本市小学2～6年児童（栄養教諭等配置校50校）及び中学1～3年生徒（20校）を対象にした朝食喫食調査と分析 | 教育委員会 健康教育課 |
| 食生活アンケート調査（再掲） | 10月 | 小学5年児童：全校 中学2年生徒：20校 | 本市小学5年児童（全校）及び中学2年生徒（20校）を対象にした食生活全般に関する意識調査と分析 | 教育委員会 健康教育課 |

【その他】 計画の推進体制
食育推進運動の展開

| 事業名 | 実施時期 | 実績 (人数・件数等) | 内容 | 担当局・課 (関係課) |
|----------------------------------|-----------------------|---|--|-----------------------|
| 食育月間の取り組み | 6月 | | 各保育所において、食育月間の取り組みとして、試食会、食育の啓発等を行った。 | こども未来局 保育所指導課 |
| 食育キャッチフレーズ・マスコットキャラクターの募集 | 6月19日 ～ 7月31日 | 応募総数 キャッチフレーズ 258点 マスコットキャラクター 197点 | 食育推進を効果的に行うために市民に親しみやすいキャッチフレーズ・マスコットキャラクターの募集 (10月26日公表) | 保健福祉局 保健予防課 |
| 食育パネル展 | 6月18日 ～ 6月22日 | 来場者数 325人 | 市庁舎1階ロビー及び情報プラザ内での食育事業のパネル展 | 保健福祉局 保健予防課 |
| 健康・食育イベント | 10月26日 ～ 10月28日 | ブース来場者 約700人 | 健康日本21福岡市計画と福岡市食育推進計画の普及啓発を目的とする体験コーナーやパネル展の実施 天神地下街北側イベント広場 | 保健福祉局保健予防課 健康づくり財団 |
| 食育マスコットキャラクターの愛称募集 | 10月下旬 ～ 11月30日 | 応募総数 1,045点 | 6・7月に公募し、決定したマスコットキャラクターを食育推進に効果的に行うために市民に親しみやすい愛称の募集 (1月12日公表予定) | 保健福祉局 保健予防課 |
| 食育フェスティバル (農林水産省にっぽん食育推進委託事業) | 11月23日 | ブース来場者 約800人 | 青年会議所主催の食育フェスティバルに食事バランスガイドパネルブース出展、本市関係各局・区の食育推進取り組みを紹介 | 保健福祉局 保健予防課 |
| 学校給食週間(再掲) | 1月24日 ～ 1月30日 | | 学校給食の意義・役割等についての理解を深めるため、学校給食に関する校内行事等の取り組みを実施する。 | 教育委員会 健康教育課 |
| 食育フェスタ in 学校給食(再掲) | 1月26日 | | 栄養職員・学校栄養職員による保護者及び児童・生徒対象の食育イベント(料理教室、食育講演会、学校給食の紹介等) | 教育委員会 健康教育課 |
| 食育月間(6月)・食育の日 (毎月19日)の普及啓発 | 随時 | 108回 4,252人 | 保健福祉センター事業において周知、広報の実施 | 各区保健福祉 センター |
| 健康づくり月間 | 10月 | 2,985人 (各区年1回) | 健康増進月間の取り組みの中で健康まつり(フェア)を開催し、市民に対し健康食の提供や生活習慣病予防を中心とする講演会等の開催 | 各区保健福祉 センター |
| 生活習慣病予防月間 | 2月予定 | (各区年1回) | 生活習慣病予防月間の中の取り組みの中で、生活習慣病予防の講演会や、健康食パーティの開催 | 各区保健福祉 センター |

○ 農林水産省 平成19年度につぼん食育推進委託事業

平成17年6月に厚生労働省及び農林水産省で作成した「食事バランスガイド」は、認知度はあがってきたものの、これを日々の食生活に活かしている人は、まだまだ少ないのが現状である。

平成19年度農林水産省では、「食事バランスガイド」を活用した「日本型食生活」の普及・啓発キャンペーンを全国4地区（埼玉県さいたま市、東京都世田谷区、大阪府高槻市、福岡県福岡市）で集中的に実施した。

1 普及・啓発の対象

「児童・生徒」、「大学生」、「子育て世代」、「単身者」、「若者層」及び「中・高年の男性」といった中から対象を絞って普及・啓発を実施

2 事業の概要

(1) 事業内容

- ア 新聞、雑誌、ポスター、リーフレット等の紙媒体及びCD、DVD等の電子媒体を活用した普及・啓発
- イ 車両広告を活用した普及・啓発
- ウ キャンペーンの実施（キャンペーンタレントとして「優香」さんを起用）
- エ 食事バランスガイド等の普及状況調査の実施

(2) 実施地区

埼玉県さいたま市・東京都世田谷区・大阪府高槻市・福岡県福岡市

[本市選定理由]

本市食育の特徴に「若者を中心とした食育があること」「アジアとの交流を生かした食育」があり、福岡市食育推進計画の策定直後であること

3 キャンペーン実施時期

平成19年9月～平成20年1月

4 実施状況

(1) 雑誌広告

| 媒体名 | 掲載時期 |
|-----------------------|-----------------------------|
| QuiCooking（タブロイド版，月刊） | 10月号（9/25発行）・1月号〔12/25発行予定〕 |
| シティ情報ふくおかCLASS（月刊誌） | 9/25発売号・12/25発売号〔予定〕 |

(2) 交通広告

| 期間 | 会社（路線） | 広告内容 |
|--------------|-----------------|-------------------|
| 10/1～10/31 | 西鉄大牟田線・大宰府線・甘木線 | ドア横ポスター（220枚） |
| 1/1～1/31（予定） | 西鉄大牟田線・大宰府線・甘木線 | ドア横ポスター（220枚） |
| 10/1～10/31 | 福岡市営地下鉄 | まど上シングルポスター（224枚） |
| 1/1～1/31（予定） | 福岡市営地下鉄 | まど上ワイドポスター（224枚） |
| 10/1～12/31 | 西鉄バス | 路線バス外側看板（75台） |



雑誌広告



電車内広告



車両広告例

(3) 「食事バランスガイド」キャンペーン関連イベント

| イベント名 | 日時 | 主催 ()は実施団体 | 実施場所・内容 |
|---------------------------------------|----------|---|---|
| 福岡・朝カフェ2007 | 10/1～/5 | 福岡・朝の魅力向上実行委員会事務局（福岡市・福岡女子大学食育支援プロジェクト） | 【天神周辺】 約40,000人 5会場 17店舗 朝カフェで朝ごはんの大切さをパソコンを使った「食事バランスガイド」体験を通じて理解してもらう。 |
| 福岡市健康づくりセンター市民公開講座 | 10/6 | 福岡健康づくり財団、福岡市、読売新聞西部本社 | 【あいれふホール】 280人 「食事バランスガイドで食育推進！」等をテーマに「食と健康」を考える講演会とパネルディスカッション |
| 福岡商工会議所健康診断 | 10/18～20 | 福岡商工会議所（福岡市・福岡市食生活改善推進員協議会） | 【福岡商工会議所】 500食 「食事バランスガイド」を使った食生活栄養診断 |
| ココロ・カラダすっきりプロジェクト2007（福岡市健康・食育キャンペーン） | 10/26～28 | 福岡市・福岡市健康づくり財団・健康21福岡市計画推進会議 | 【天神地下街】 ブース来場者 約700人 パソコンを使った「食事バランスガイド」体験コーナーと栄養士による栄養相談。リーフレット配布による「食事バランスガイド」普及・啓発。 |

| イベント名 | 日時 | 主催 () は実施団体 | 実施場所・内容 |
|---------------------------------------|---------|--|--|
| 親子で使おう「食事バランスガイド」冊子配布及び指導 | 11月～ | 福岡市教育委員会 | 【市立小・中学校】 214校 本市小学4・5・6年児童及び中学1年生徒に対して”親子で使おう「食事バランスガイド」を配付し、それを活用した栄養教諭・学校栄養職員による食指導 |
| 食卓の向こう側 in 食育フェスティバル いただきます～ごちそうさま | 11/23 | 青年会議所 (福岡市) | 【中村学園大学】ブース来場者 約800人 食事バランスガイドパネルブース出展、本市関係各局・区の食育の取り組みを紹介 |
| 「私たちの食事とアスリートの食事」講演会 | 1/12 | 主催：農林水産省 共催：福岡市 | 【福岡市役所 講堂】 500人 「私たちの食事とアスリートの食事」と題した講演会を実施。ゲストに益子直美さんを迎え、福岡女子大の早淵先生と「アスリートの食事」に関して対談。早淵教授の「〈食事バランスガイド〉簡単活用術」の講演。同時開催として福岡市食育推進計画マスコットキャラクターの愛称発表会を実施 |
| 博多うまかもん市 | 1/23～28 | 福岡商工会議所 (福岡市・福岡市健康づくり財団・福岡市食生活改善推進員協議会・農林水産省) | 【岩田屋】 60食 今年は食育をテーマに開催。食生活改善推進員による郷土料理教室の実施(1/23) 福岡市健康づくりセンターと農林水産省で「食事バランスガイド」のチェックコーナーを共同出展。パソコンを利用した「食事バランスガイド」体験とパネル展示 |
| 「食事バランスガイド」常設体験施設 | 常設 | 福岡市健康づくり財団 | 【健康づくりセンター】 07年9月より、フードモデルを使って自分でメニューを組み立てる「ウェルネスレストラン」を「食事バランスガイド」体験拠点としてリニューアル。各種イベント、料理教室等も開催 |



朝カフェ (食事バランスガイドチェック)



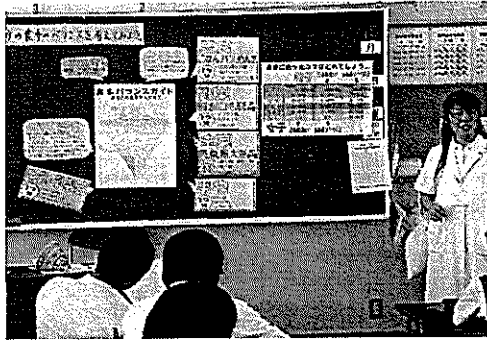
福岡商工会議所健康診断



ココロ・カラダすっきりプロジェクト2007



食卓の向こう側 in 食育フェスティバル



食育授業風景



食育マスコットキャラクター愛称発表会

【広報媒体】



つ(SV)カウンター



食事バランスガイド
パンフ（親子向け）



食事バランスガイドパンフ
（若者中高年向け）



料理教室用パンフ

(4) 料理教室・講習会

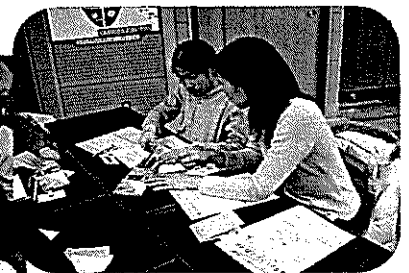
| 事業名 | 日時 | 主催・実施団体 | 実施場所・内容 |
|----------------------------|-------|---------------------------|--|
| 福岡とれたて野菜クッキング教室 | 10～3月 | 福岡市農畜産物消費拡大推進協議会 | 【JA福岡市・JA福岡東部管内】 39人 2回/全4回 産地見学, 福岡市産のとれたての新鮮な野菜を使った料理教室を絡めて「食事バランスガイド」を身近に学ぶ。 |
| おやこで学ぼう「食事バランスガイド」～おやこ食育講座 | 11～1月 | 農林水産省 (福岡市食生活改善推進員協議会) | 【市内公民館, 保健福祉センター】 30人/回 10回予定 「食事バランスガイド」を実習する料理と絡めて説明し, 親子で「食事バランスガイド」を体験。 |
| 食事バランスガイド体験&お魚料理教室 | 12/15 | 福岡市漁業協同組合 | 【健康づくりセンター調理室】 9組 20人 市漁業協同組合, 県漁協女性部協議会, 市健康づくりセンターによる「お魚料理教室」後, ウェルネスレストランでメニューを組み立てる「食事バランスガイド」体験。 |



福岡とれたて野菜クッキング（産地見学）



食事バランスガイド おやこ料理教室



バランスコマ作成

3) 計画のキャッチフレーズ及びマスコットキャラクター・愛称

○ 計画のキャッチフレーズ及びマスコットキャラクター・愛称の決定

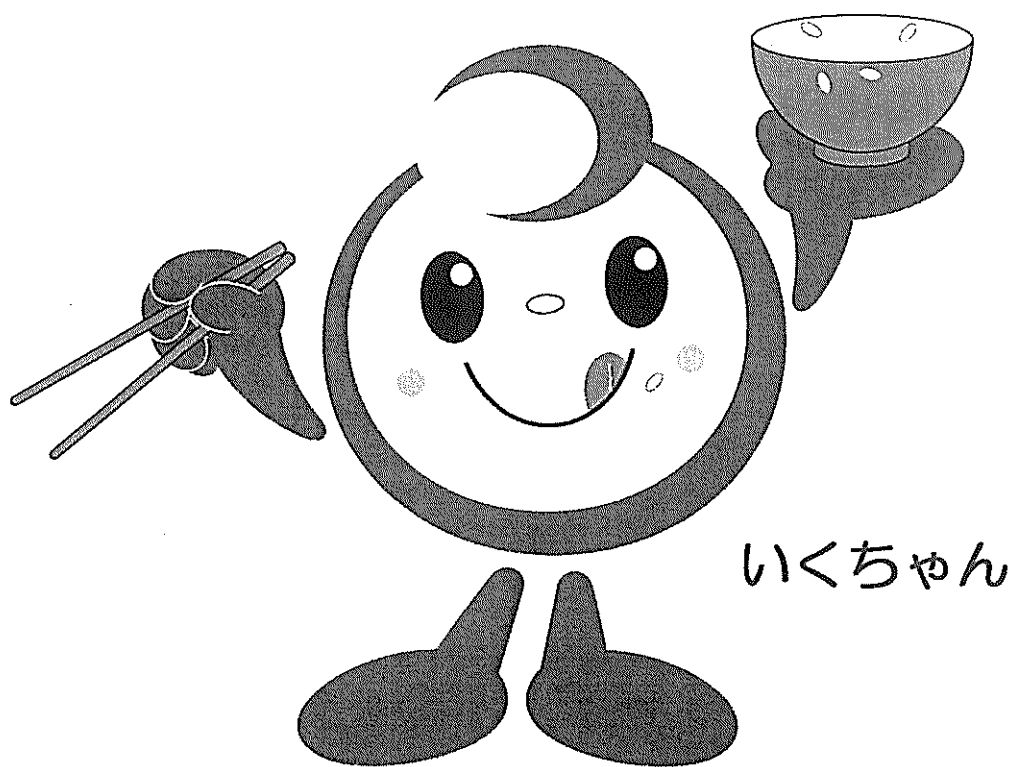
最優秀賞

| 部門 | 作品 | 募集期間 応募数 | 発表日 |
|-------------|--|--|---|
| キャッチフレーズ | <p>食育で 明るい未来 元気な福岡 小松 ゆか 様 福岡市博多区在住 40歳 無職</p> <p>(理由) 食育は心身共に健全な成長を する取り組みだから</p> | <p>平成19年6月19日 ～7月31日</p> <p>258件</p> <p>(選考委員会 8月28日)</p> | <p>平成19年 10月27日</p> <p>表彰式 「健康づくり」 月間天神地下 街イベントコーナー</p> |
| マスコットキャラクター | <p>(次ページ) 川本 智 様 長野県木曾郡大桑村在住 52歳 グラフィックデザイナー</p> <p>(理由) 福岡市の頭文字「ふ」をモチ ーフにして、食べ終わった ご飯茶碗を高く上げる元気な キャラクターを親しみやすく 表現した</p> | <p>同上</p> <p>197件</p> | <p>同上</p> |
| 愛称 | <p>いくちゃん 竹村 絵里加 様 福岡市南区在住 18歳 高校生</p> <p>(理由) 食育にちなんだ名前なので 「食育」という言葉の育とい うのをとった</p> | <p>平成19年10月末 ～11月30日</p> <p>1,045件</p> <p>(選考委員会 12月25日)</p> | <p>平成20年 1月12日</p> <p>表彰式 「食事バランス ガイド」キャンペ ーンin福岡市</p> |

(5)

(5)

食育で 明るい未来 元気な福岡



○ イラスト等の利用についてのガイドライン

福岡市食育推進キャッチフレーズ及びマスコットキャラクター・愛称」のイラスト等の利用についてのガイドライン（案）

ガイドライン作成の目的等

福岡市食育推進計画を個人や企業（職場）、地域などそれぞれの立場で“できることから取り組み”をしていただくため、また、“ふくおか”ならではの取り組みに広がることを目的に、「福岡市食育推進キャッチフレーズ及びマスコットキャラクター・愛称」を作成しました。

個人や地域をはじめ食に関する小売店・外食の場や栄養及び健康に関する著作物等で利用されることで、より多くの方々に活用されるようにガイドラインを定めます。

また、「福岡市食育推進キャッチフレーズ及びマスコットキャラクター・愛称（福岡市食育マスコットキャラクター等）」の名称及びイラストについては、日本国の著作権法及び国際条約による著作権保護の対象となるものです。

このようなことから、「福岡市食育推進計画」の趣旨に沿った使用がなされるよう、一定のガイドラインを示した上で、本市が示す基本形及びそのバリエーションを自由に使用できるようにします。

なお、本ガイドラインは予告なく変更されることがあります。

【 ガイドラインの内容 】

- 1 著作権は福岡市に帰属する。
- 2 「キャッチフレーズ及びマスコットキャラクター・愛称」のイラストの変更を行う場合の留意点
 - (1) 色、形（マスコットキャラクターの手の部分を除く）、字体等については変えないこととする。
 - ① マスコットキャラクターの顔、胴体、足の部分のデザインは変えないこととする。
 - ② マスコットキャラクターの手に持つものの差替えは可とする。
 - ・ 基本ポーズ（箸と茶碗）以外のバリエーションをつけた場合は、原則としてキャッチフレーズを付けて使用すること。
 - ・ 使用者それぞれの立場にあった福岡市の食育を推進する持ち物であること。
 - ・ 「手に持つもの」のイラストについては、利用者が著作権等の使用許諾を得ているイラスト等に差し替えることを可能とする。この際、「手に持つもの」の趣旨を逸脱しない持ち物とすること。
 - ③ キャッチフレーズの字体は変えないこと。
 - (2) 縮小・拡大は可とする。
 - (3) 「福岡市食育マスコットキャラクター等」の一部を使用
 - ・ 「福岡市食育マスコットキャラクター等」の趣旨を逸脱せず、一般に誤解を与えない範囲で使用すること。
- 3 「福岡市食育マスコットキャラクター等」を使用する場合には、福岡市が設ける窓口申請すること。

申請内容

 - 1) 会社名、団体名
 - 2) 代表者名または使用者名
 - 3) 使用者連絡先（住所、電話番号、FAX番号等）
 - 4) 「福岡市食育マスコットキャラクター等」の使用目的
 - 5) 「福岡市食育マスコットキャラクター等」の改変理由を明記した文書とともに、イラストの改変内容を説明（可能な限り図示）したものを添付

申請窓口

福岡市 保健福祉局 保健医療部 保健予防課 栄養指導係
福岡市中央区天神1丁目8-1

TEL : 092-711-4269

FAX : 092-733-5535

E-mail : hokenyobo.PHWP@city.fukuoka.jp

「福岡市食育推進キャッチフレーズ及びマスコットキャラクター・愛称」
のイラスト等の利用

申 請 書

1) 会社名, 団体名

2) 代表者名または使用者名

3) 使用者連絡先

住 所

電話番号

FAX 番号

その他(メールアドレス, ホームページなど)

4) 「福岡市食育マスコットキャラクター等」の使用目的

5) 「福岡市食育マスコットキャラクター等」の改変理由を明記した文書とともに,
イラストの改変内容を説明(可能な限り図示)したもの

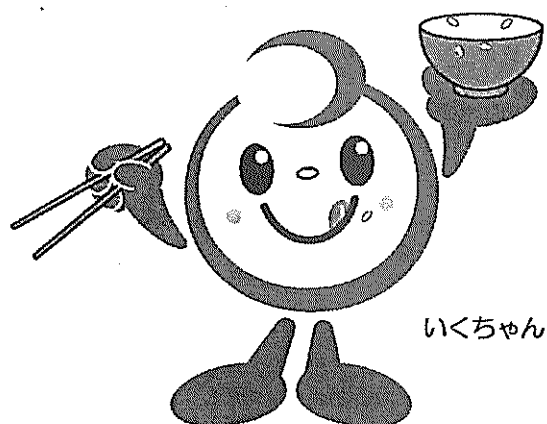
添 付

福岡市食育推進計画キャッチフレーズ・マスコットキャラクター
バリエーション

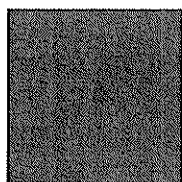
キャッチフレーズの字体

食育で
明るい未来
元気な福岡

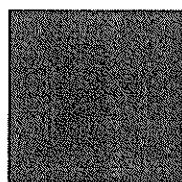
マスコットキャラクター「いくちゃん」
基本ポーズ（箸と茶碗）



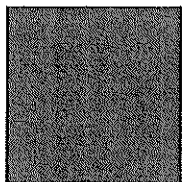
福岡市食育推進計画キャラクター・キャッチフレーズ
メインカラーの色指定



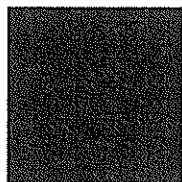
フクオカブルー
（博多湾をイメージ）
指定色=DIC182
プロセス=C100+M44（近似色）



フクオカオレンジ
指定色=DIC119
プロセス=M70+Y100（近似色）



フクオカグリーン
（博多山系をイメージ）
指定色=DIC643
プロセス=C100+Y86（近似色）



フクオカレッド
指定色=DIC158
プロセス=M100+Y100（近似色）

食育で
明るい未来
元気な福岡

食育で
明るい未来
元気な福岡

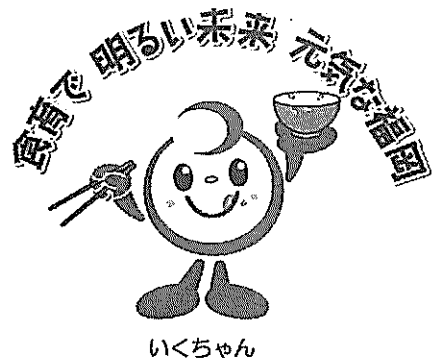
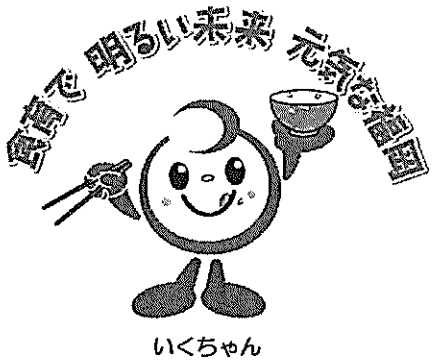
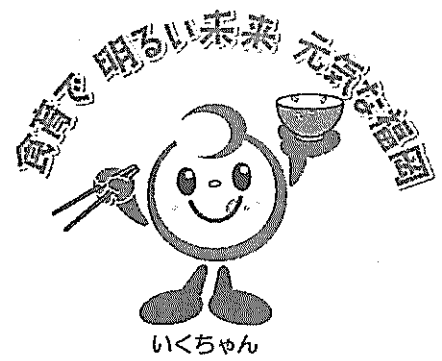
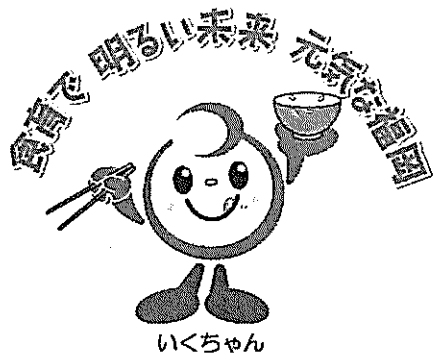
食育で
明るい未来
元気な福岡

食育で
明るい未来
元気な福岡

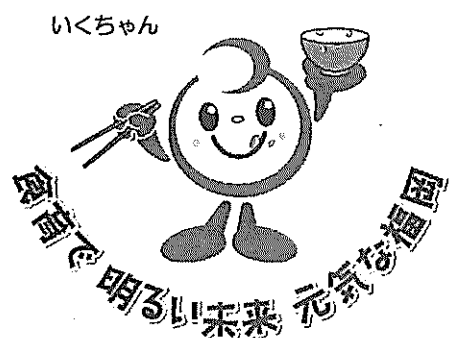
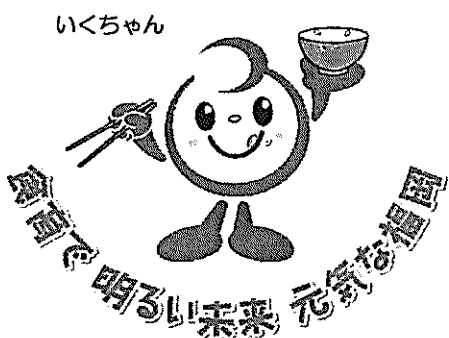
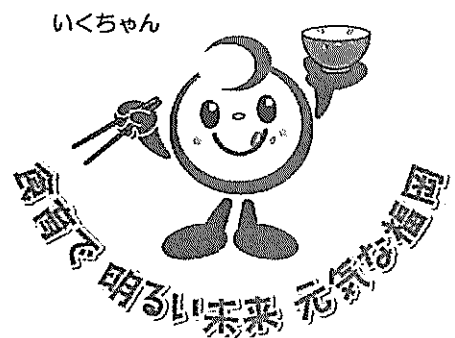
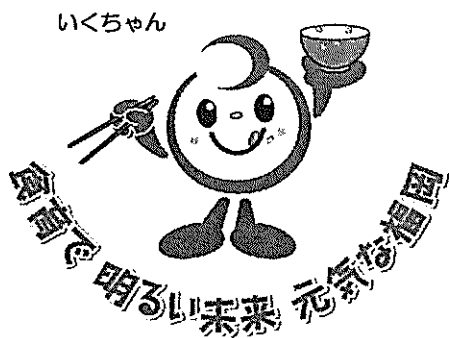
キャッチフレーズとマスコットキャラクターの
組み合わせ（キャッチフレーズ／横3行）



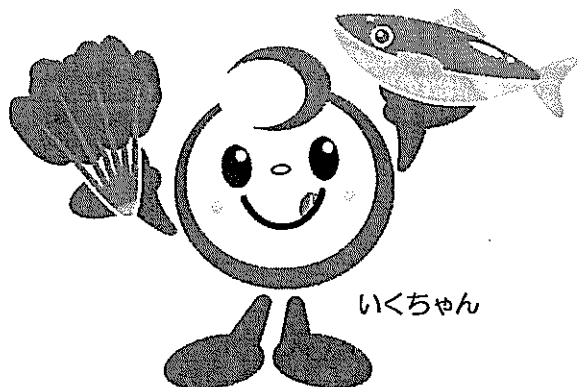
キャッチフレーズとマスコットキャラクターの
組み合わせ (キャッチフレーズ/上アーチ)



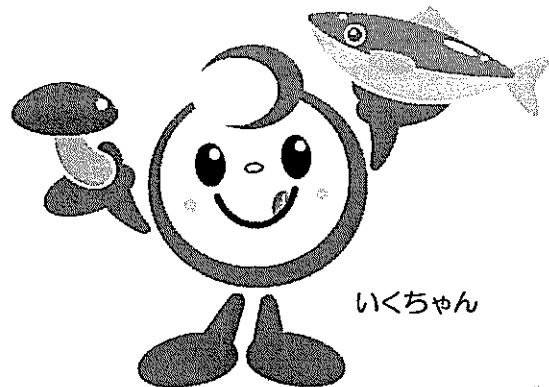
キャッチフレーズとマスコットキャラクターの
組み合わせ (キャッチフレーズ/下アーチ)



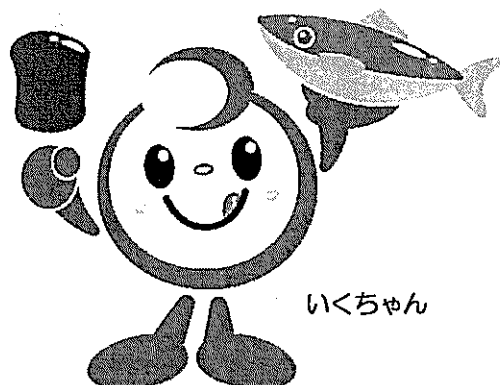
マスコットキャラクターの手に持つもの
組み合わせ（葉物野菜と魚）



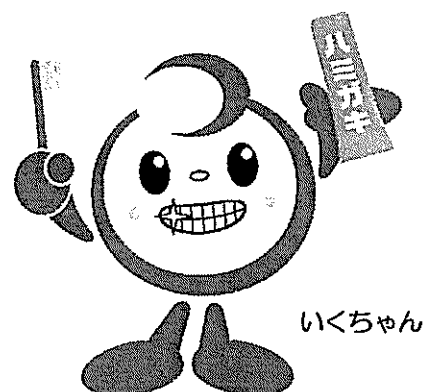
マスコットキャラクターの手に持つもの
組み合わせ（キノコ類と魚）



マスコットキャラクターの手に持つもの
組み合わせ（肉と魚）



マスコットキャラクターの手に持つもの
組み合わせ（歯ブラシと歯みがき粉）



【注意】

マスコットキャラクター（いくちゃん）の「手に持つもの」を変えたときは、必ずキャッチフレーズを付記してください。

議題2 今後の計画の推進について

- 1 キャッチフレーズ・マスコットキャラクターを活用した食育推進運動の展開
- 2 関係推進月間での普及啓発
「食育推進月間」「食品衛生月間」「健康づくり月間」「学校給食週間」等
- 3 ネットワークによる食育推進
 - (1) 地域
 - (2) 学校
 - (3) 企業
 - (4) その他
- 4 情報発信

3

21